



田豊講の見事な演舞

大館神明社例大祭

(9月10日)

五穀豊穰、商売繁盛、家内安全を祈念して、大館神明社の例大祭が開幕し、各町内の曳山車(ひきやま)16台と子供みこし12台が市内を巡行しました。

雨に見舞われることが多いため、「雨祭り」とも言われる神明社の祭典ですが、この日も、時折小雨に見舞われるあいにくの天気。各曳山車は笛や鐘、太鼓で奏でられる大館ばやし囃子の軽快なリズムと「イヤサカサッサー、ヨーイヨイ」の掛け声とともに市内を練り歩き、見物客からは、拍手と歓声が上がっていました。



下水道のしくみを見入る方々

もつと身近に！ 下水道展

(9月8日)

いとく大館ショッピングセンターで下水道展が行われ、500人を超える方々が訪れました。

この下水道展は、下水道に理解を深めてもらうために毎年行われているもので、今年で15回目の開催。会場には下水道本管の実物や汚水の処理過程を説明するパネル、普及状況の推移を示すグラフなどが展示され、下水道の仕組みが分かりやすく説明されていました。

中には、整備計画図を見ながら今後の下水道の整備予定を職員に質問するかたもいて、普段あまり意識することの無い下水道の仕組みと役割に関心を深めていました。



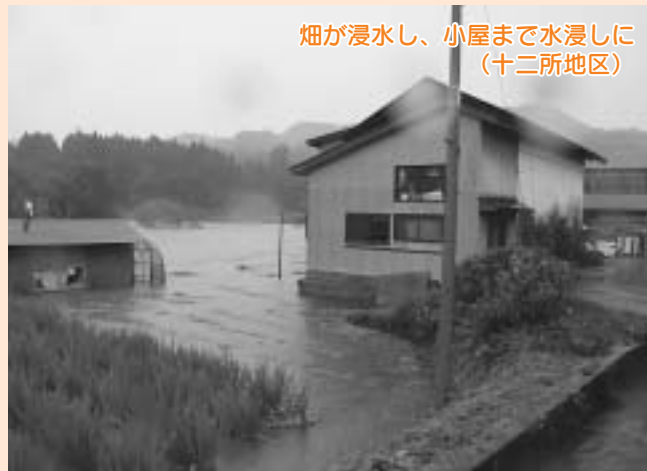
犀川が決壊し、道路を寸断(扇田地区)

秋雨前線による大雨で、市内各所で被害が発生しました。
9月17日には、米代川が増水し、支流の犀川などで水量が堤防を越えたため、沿岸の住民1806世帯、5029人に避難勧告が出され、市内15カ所に設けられた避難所で、577人が眠れぬ夜を過ごしました。床上、床下浸水の家屋は90棟にのぼり、収穫を間近に控えた農作物への影響も大きく、全体の被害額は、約4億円と見込まれています(9月21日16時現在)。
また、取水場が水没したため、比内上水道と真中簡易水道が断水し、約7800人に影響が出ました。

大雨で甚大な被害



裏手の法面が崩れ、小屋と家屋に被害が発生(釈迦内地区)



畑が浸水し、小屋まで水浸しに(十二所地区)